

CAMPUS COMMUNICATION

CELERY

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌【セロリ】

2012

4

April

No.83

入学式
学長訓示

◎学位記授与式

◎学部展望 ～学部長インタビュー～



充実生活、スタート!!



10

活躍する卒業生

09

わがゼミ案内
栄養科学部 栄養科学科
山根一文ゼミ

07

学位記授与式
卒業生コメント

05

学部展望 学部長インタビュー

03

入学式 学長訓辞

02

新入生コメント

CONTENTS



短期大学部546名、大学724名、大学院21名の新入生と33名の編入生が新しいスタートを迎えました。大きな期待を抱いて大学生活を始めた中村学園大学・中村学園大学短期大学部の新入生に、これからの豊富を語ってもらいました。

大学 栄養科学部

中村学園大学を卒業生した多くの方々がいろんな分野で活躍されていること、そして私が目指す管理栄養士の合格率が高いことなどを考え、私もぜひここで学びたいと思い進学を決めました。将来は管理栄養士として、病院に入院している方々をサポートできたらと思っています。(寺崎さん)



短期大学部 食物栄養学科

小学校の頃から食にかかわる仕事に就きたいと思っていたこともあり、栄養士の資格が取れるこの学科への進学を決めました。楽しみにしている調理実習の授業をはじめ、あらゆる学びに全力で打ち込みたいですし、学園祭実行委員会のメンバーになって友人も増やしたいです。(畠山さん)



大学 教育学部

幼稚園教諭になるという小さい頃からの夢を叶えるためにこの学部を選びました。ピアノなど苦手な分野もありますが、目標達成のために基礎からしっかり学びたいですし、硬式テニス部に入学するなど、課外活動にも積極的に取り組んで4年間で大きく成長したいです。(佐々木さん)



短期大学部 キャリア開発学科

勉強もしっかり頑張りがちで、サークルなどにも参加しているような交流を広げていきたいと思っています。中村学園大学の第一印象は、学生の皆さんのマナーが良く、とても礼儀正しいところです。私も先輩方を見習い、ここで自分を磨いて、社会で立派に活躍できる人になりたいです。(大津さん)



大学 流通科学部

カリキュラムの良さや少人数教育などに興味を持ち、この学部を選びました。尊敬する母が中村学園大学出身であったことも、この大学を選択した理由の一つです。将来の目標は経営者になることですが、経営学を中心に幅広く学び、その夢に近づけるように努力していきたいです。(毛利さん)



短期大学部 幼児保育学科

将来、子どもたちにたくさんの笑顔をあげられる保育士になりたいと思い、この学科を選びました。私の抱く中村学園大学のイメージは、明るくていつも楽しい雰囲気です。この環境で、先生方からしっかり学び、仲間たちとしっかり楽しみ、悔いのない充実したキャンパスライフを送りたいと思っています。(坂田さん)



CELERY

中村学園大学・中村学園大学短期大学部
広報誌【セロリ】

2012.4 April

No.83



14

EVENT and NEWS

・学内外のイベント
・学生表彰
・教職員の動き

13

平成24年度入試結果
付属幼稚園 園長だより

12

クラブ&サークル
サークルフェスタ開催

11

チャレンジするナカムラ生
ヤングアドバイザー

入学式

(平成24年4月3日)



新入生の皆さんへ —学長訓辞—

中村学園で学ぶことを 好きになってください。



中村学園大学 中村学園大学短期大学部 学長 甲斐 諭

ご来賓各位をはじめ、新入学生の保護者・ご家族の皆様方の多数のご臨席のもと、平成24年度中村学園大学短期大学部、中村学園大学、中村学園大学大学院の合同入学式を挙行するに当たり、中村学園大学短期大学部546名、中村学園大学724名、中村学園大学大学院21名、合計1,291名の新入学生を本学に迎え、その前途を祝福することは、私共教職員にとりまして、この上もない喜びでございます。新入学生の中には、20名の外国人留学生も参列しています。

新入学生の皆さん、改めて、ご入学おめでとうございます。保護者・ご家族の皆様方におかれましては、さぞかし万感の思いで、この入学式をお迎えになられたことと、本学教職員を代表しまして、心よりお慶びを申し上げます。

新入学生の皆さんは、将来の目標を定め、中村学園で学ぶことを選択されました。皆さん、どうか、一日も早く、本学の風土やシステム、それに新たな友人や先生方に慣れ、本学で学ぶことを好きになってください。本学での生活が好きになることが、まずは最も大切な要点です。

中村学園は現在の短期大学部の前身である昭和29年の福岡高等栄養学校の創設から数えて58年、短期大学部では3万名以上、大学では1万名以上の卒業生を社会に送り出し、建学の精神に培われた皆さんの先輩方の活躍に

よつて、高い社会的評価を受けています。皆さんも本日から中村学園の一員となりますので、学園祖中村ハル先生が掲げられた建学の精神を熟知し、それを日々体現してください。

先生は、第二に、「日本人としての自覚を持ち、清節の風を尊び、感恩の情に富み、労作にいそしみ、人格の形成に努める」ことが重要と教えられました。清節とは高い志を持ち続けること。感恩とはご両親をはじめ、皆さんを教育する先生方、そして皆さん方の日々の成長を支援してくださる方への感謝を怠らないこと。労作とは困難に打ち勝ち、努力して物事を達成するということです。この清節、感恩、労作の建学の精神は、皆さんが人間性を磨き、将来社会が求める専門職業人となるための基本的な心構えを説いたものです。

先生は、第二に、「姿・形は心の現れ」と説かれました。本学で学ぶ学生には「中村らしさ」が大切です。中村学園の学生らしい服装、言葉遣い、挨拶、マナーにも、本学で学ぶ学生らしさがなければなりません。それを軽視すると心に隙が生じ、結果的には学業も疎かになります。また、未成年者の飲酒を禁じた法令などの社会規範を必ず遵守してください。先生は、第三に、「理論と実際の統合を図り、学問と生活の融合を重んじた教育」が重要であると説かれました。文部科学省は、各種の文書で、「学生は何を学んだかではなく、何が出来るように

なったか」が重要であると指摘しています。先生は50年以上も前にこの指摘を建学の精神に織り込まれたのです。本学園で学んだ学園を実際の生活に生かしながら、合理的で、しかも人間性豊かに生きてください。

いま世の中はグローバル化時代になっています。本学は、世界に通用する学位を授与する高等教育機関であり、皆さんが、グローバルに活躍できるように教育目標を掲げ、カリキュラムを編成しています。将来、ローカルでは勿論のこと、外国語を身につけ、グローバルにも活躍できる人材になることを期待します。特に、皆さん全員が、将来、有為な人材となるために、以下の四点を提案しますので、忘れないでください。

まず、第一点は、「学びは基本から」ということです。皆さんがこれから受ける講義・演習・実習からなる各教科の殆どは高等学校にはなかった教科です。これらの教科に対する基本的知識が不十分であるのなら、本学のeラーニングシステムなどを活用してください。文部科学省では、60分の授業には60分の予習と60分の復習、即ち自学・自習を義務付けています。

第二点は、「部活動やサークル活動に参加することです。これらの活動を通して、少しのことではくじけない忍耐力と協調性、それにコミュニケーション力を涵養してください。忍耐力、協調性、コミュニケーション力が不足すると就職活動も困難に

なることを警告しておきます。

第三点は、「キャンパス以外にも学びの場を求める」ということです。本学は、九大・福大・西南大・福岡歯科大との大・学間連携による単位互換制度を作り、皆さんが他大学においても正規の授業を受けることを可能にしています。それに加えて、将来の職業選択に関連のある企業訪問、地域におけるボランティア活動など、他大学の学生や地域の方々ともキャンパス以外で積極的に交流してください。特に、本学は、広大な田島グラウンドを有していますので、時には、広々としたグラウンドにおいてクラス・マッチなどで汗を流してください。このようなエキストラ・カリキュラムは、生涯の友人を作る機会となり、思い出深い学園生活になるでしょう。

第四点は、「悩みは早く解決する」ということです。在学中に一時的に精神的・肉体的原因から学業が思ったようにはかどらないことは、誰にでもあります。本学は個人情報に十分留意した指導主任制度、学生相談室、保健室などの学生支援体制を整備しており、本学の専任教員である産業医や嘱託医が、希望すれば皆さんのメンタルヘルスのアドバイス等を行います。必要があれば、本学のこの学生支援システムを活用してください。

本学は、専門領域の知識を教授し、国家資格などのさまざまな資格の獲得を指導するとともに、建学の精神に則って

21世紀の日本を背負う心豊かで、情操に富み、社会性・倫理性を持った人材の養成を目指しています。皆さん、多くの先輩、友人との出会いを大切に、学問への情熱を高め、自分に対して真実を求め、他人に対しては真心を持って接しながら、学園祖のご遺訓である「努力の上に花が咲く」を心に刻み、中村学園の新たな次の50年の伝統を創造する二員に加わってください。

最後に、江戸時代の末期に、現在の山口県において、尊皇攘夷派の人々に影響を与えた月性和尚が、若き日に、勉学のため京都・大阪に向かって故郷を出立するときに作り、吉田松陰に贈ったと言われている漢詩を紹介します。

男児志を立てて郷関を出す
学若し成る無くんば復還らず
骨を埋むる何ぞ期せん墳墓の地
人間到處青山有り

若者がひとたび、志を立てて故郷をあとにしたからには、所期の目的が達成されなければ、二度と郷里には帰らない、と燃えるような向学心と学問への情熱を抱いて、郷里を出発しています。本日の皆さんもきつとこのような心境ではないかと思えます。本日の喜びと学問への情熱を長く胸に刻み、本学の学生であることに誇りを持って、勉学と人格の陶冶に勤しんでください。大きく成長されることを心から期待しています。ご入学おめでとございます。



日々変化する時代を的確に捉えながら、社会に求められる人材を輩出している中村学園大学・中村学園大学短期大学部。
教育目標と今後の展望について、各学部の学部長にお聞きしました。

教育学部

相良 康弘

教育学部長



選択肢を大きく広げ、教職のスペシャリストを育てる

教育学部は、昨年、人間発達学部から名称を変え、新しいスタートを切りました。以前は、児童発達学専攻と幼児発達学専攻の2専攻を設置していましたが、新しくなった教育学部では二つの専攻を一本化して児童幼児教育学科とし、編成を大幅に変更しました。初年次教育では、児童・幼児教育の基礎を総合的に学び、教育者を目指す学生自身がこの期間にそれぞれの進むべき道を再認識します。基本を踏まえた上で、2年次から進路を細分化し、小学校教諭一種免許、幼稚園教諭一種免許、保育士資格、更には特別支援学校教諭一種免許の中から最大3つまで選択することが可能となります。

教職という役割を担う上で必要なもの、それ

は豊かな人間性と自己を律する力、そして、確かな学力に裏打ちされた知識と経験です。本学科ではこれら3つの力を養うため、実習の数を増やしました。初年度から早速、見学実習などを取り入れ、現場の空気を肌で感じ、仕事の上で生じる厳しさややりがいとその体で実感しながら、知識と技術、そして人間性を高めていくと考えています。

本学科では、平成23年度小学校教員採用試験の現役合格率が46.6%、平成24年度採用試験では52.4%を達成しました。この実績を更に高め、よく努力するとともに、今後も社会の第一線で役立つ人材を輩出していききたいと考えています。

栄養科学部

藤田 守

栄養科学部長



人間性豊かで高度な栄養科学的知識を持った学生を育てたい

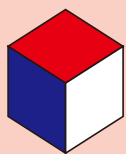
日本は超高齢化社会に向かって急進しています。同時に、生活習慣病等も急増しています。そこで、医療・福祉・介護の場で高度な栄養ケア・マネジメントができる管理栄養士が求められています。

栄養科学部では高度な栄養科学的知識・技術・態度を備えた人間性豊かな管理栄養士の育成を目指しています。そのため教職員が熱意を持って教養・教職科目、管理栄養士の専門基礎科目及び専門科目に関する講義・演習・実験・実習を行って学士力を養成。更に初年次教育（少人数制のチュートリアル教育）、中村学園大学付属医療施設（栄養クリニック）などを活用した早期臨床体験、模擬患者実習、客観的臨床能力試験などを実施。講義形式と実地形式とを融合させながら実践力及び就業力を備えた学生を育成してい

ます。

こうした学びが着実に実を結び、昨年の管理栄養士国家試験では、卒業生229名全員が受験し、そのうち211名が合格（合格者数で全国第2位、西日本第1位）、合格率92.1%と、全国でもトップレベルを誇る実績を築いています。また、就職氷河期といわれる厳しい状況下でありながら94.0%という就職率を打ち出し、高い就職実績や卒業後の活躍も本学部の特徴の一つです。

栄養科学部のこうした特徴を今後も維持し、これからも常にイノベーションを起こし続けることが、私たちの使命。これまで積み上げてきたあらゆるノウハウを注いで、人間性豊かで高度な栄養科学的知識・技術等を備えた学生を育てていきたいと考えています。



短期大学部

清水 誠

短期大学部長



中村学園大学短期大学部は食物栄養学科、キャリア開発学科、幼児保育学科の3学科で編成されています。それぞれ独自のカリキュラムを構築していますが、中でも特徴的なのが「短期大学部マナー教育」の導入です。短い二年間の教育を終えて、すぐに社会適用できるようなビジネスマナーを、短期大学部で定着させようという取組みを行っています。

平成23年度からは「短期大学部教養講座」を開始しました。これは各学科の専門性のほかに短期大学部での学びを確かな教養として身につけることがねらいです。例えば、食物栄養学科の学生にはキャリア開発学科と幼児保育学科の教員がそれぞれ担当し

広い教養を備えた社会に貢献できる学生を育成

ている授業を実施します。金融について、情報管理について、あるいは子どもへの接し方について幅広く学ぶことで社会に出るための教養を身につけることができます。

これからの社会のニーズはますます多様化・高度化していくことが考えられますが、そうした要請に対応できる学生を育てていくことが我々の使命です。現状に満足することなく、多くの学生や保護者の期待にこたえて社会に貢献できる学生を育成すること、西日本一の短期大学を目指していきたいと考えています。

流通科学部

片山 富弘

流通科学部長



時代に適應できる人間力豊かな人材を輩出

流通科学部はこの京都・福岡で商業を科学として捉えようとした学部です。一般に流通と言えばスーパーなどの小売りをイメージしますが、本学科では学びの中でメーカーや卸、商社など流通の全体的な仕組みを捉えていくのが特徴の一つです。特にマーケティングに力を入れており、こうした分野は実社会と密着しているため、授業でもフィールドワークなどを積極的に提供しています。

本学科は2000年に誕生し、私自身、設立の段階から関わらせていただきました。カリキュラムの密度は年々濃いものとなり、例えばインターンシップを積極的に取り入れたり、また、企業の方の生の声を学生たちに

聞いてもらうため、企業の社長を招いての総合講義も開講しています。こうした実社会と結びつく学びは、今後も継続・強化していく考えです。

平成25年度には「アジアビジネスコース」を開設します。世の中の動きには、変わる部分と変わらない部分があると思いますが、どのような状況にも対応していく人材を育てることが本学科の役割の一つだと考えます。現在、海外留学スカラシップ制度で年間10名程度の学生が中国や韓国、その他（カナダ、ニュージーランド）に渡っていますが、今後更に広がる企業の東南アジアへの進出を見据え、次なる時代に適應できる人材を輩出していきたいと考えています。

平成23年度

学位記授与式



平成24年3月9日、
学位記授与式が本学体育館にて行われました。
卒業生は輝くばかりの笑顔で、互いに記念撮影をしたり、
後輩から花束をもらったり。旅立ちの日を迎えた皆さんに、
学生生活の思い出やこれからの抱負を語ってもらいました。

短期大学部 食物栄養学科



親身になって指導してくださる先生方ばかりで、心から感謝しています。調理がますます好きになりました。これからは保育園の栄養士になりますが、ここでの学びを活かして頑張ります。
(小倉さん 左)

この2年間で料理のレパートリーが広がり、仕事ではもちろんですが、家庭でも役に立つ学びができました。また、学園祭実行委員会に参加し、仲間と力を合わせて取り組んだこともいい思い出です。
(岡崎さん)

短期大学部 キャリア開発学科



ファッションの授業など、バラエティに富んだカリキュラムで、2年間とても楽しく学べました。これからは、マーケティングについての知識を得るために流通科学部に編入して学びを深めるつもりです。
(後藤さん 左)

「同士」として一緒に努力できる仲間、そして楽しく教えてくださる先生方の下、充実した学園生活を送ることができました。吹奏楽部で頑張ったこともいい思い出です。卒業後は公務員になります。
(前田さん)

短期大学部 幼児保育学科



幼稚園実習では、子どもたちの成長を間近で見ることができ良い経験になりました。中村学園の魅力は雰囲気アットホームなところ。幼稚園教諭になったら、子どもたちと一緒に私自身も成長していきたいです。(谷口さん 左)

中村学園ではたくさんの友達ができました。みんな「子どもが好き」という同じ思いを持って学んでいるので、私も夢を叶えることができました。卒業後は幼稚園教諭として頑張ります。周りの人に信頼される先生になりたいです。(増田さん)

謝 恩 会



大学 栄養科学部(西鉄グランドホテル)



大学 人間発達学部(ホテルニューオータニ博多)



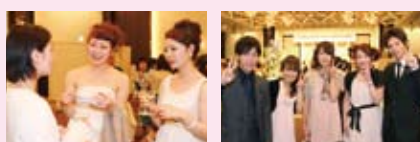
大学 流通科学部(グランド・ハイアット・福岡)



短期大学部 食物栄養学科(グランド・ハイアット・福岡)



短期大学部 キャリア開発学科(西鉄グランドホテル)



短期大学部 幼児保育学科(ソラリア西鉄ホテル)



社会人として入学し、夢を叶えることができました！



佐藤幸枝さん(短期大学部 幼児保育学科)

社会人として入学。二人の子どもを通わせていた保育園の先生にとても良くしていただいた経験から、私も同じ立場で子どもたちや保護者の方をサポートしたいと思ったのが、幼児保育学科に入学したきっかけです。クラスメイトは、みんな親しみを持って接してくれ、先生方も温かく指導してくださいました。2年間はあっという間で「ここでもうちょっと学びたかったな」というのが今の正直な気持ちです。卒業後は、子どもたちを通わせていた保育園で働きます。夢が叶えられたのは中村学園のおかげです。

大学 栄養科学部



在学中は学生イベントの企画に取り組んで、充実した毎日を送ることができました。活動の中で学部を越えて友人ができ、多くの出会いも得られました。後輩の皆さんも、学生時代にいろんなことに挑戦して欲しいです。(山元さん 左)

大学への進学をきっかけに一人暮らしを経験。毎日の家事を行うことで、両親へのありがたみを改めて実感しました。社会人になったら、がむしゃらに頑張って、いつもひまわりのような明るい存在でありたいです。(日高さん)

大学 人間発達学部

※2011年4月より
「教育学部」に改組



4年間、内容の濃い学びができました。卒業後は小学校の先生になります。世界中の教材を学んで、前例がない独自のスタイルを持った教師になりたいです。情熱を持ってこれからも頑張ります。(渡邊さん 左)

いい仲間にも恵まれて、楽しい学生生活を過ごすことができました。卒業後は、オーストラリアに2年間語学留学する予定です。英語力をしっかり身に付けてから、小学校の先生になりたいと考えています。(樺島さん)

大学 流通科学部



家電メーカーへの就職が決まり、この春から営業マンとして働きます。多くの方がより良い生活を送れるような商品をお届けできればと思っています。中村学園ではメリハリのある生活を送ることができ、満足のいく4年間でした。(深川さん 左)

流通科学部ではマーケティングを学び、日商簿記2級の資格も取得できました。卒業後は信用金庫に就職します。地元の経済発展に貢献できるよう頑張ります。後輩の皆さんも、中村学園で見聞を広め、精一杯頑張ってください。(湯下さん)

このゼミのおかげで
視野がぐっと広がりました

わがゼミ案内

Welcome to Our Seminar

栄養科学部 栄養科学科 山根ゼミ (4年生15名)



言葉と文化の多様性を探りながら 教養を広げ、心を耕す。

「日英の文化比較」を中心テーマとして、さまざまな言葉の意味をひも解きながら文化の多様性に目を向けていく山根ゼミ。視野を広げながら学生たちの「心」を耕し(cultivate)、教養(culture)を深めていくことがこのゼミのねらいです。

山根先生がゼミのテーマにしているのは、「日英の文化比較」。栄養科学部で英語を題材にした唯一のゼミとして学生たちに人気があり、日本語と英語をいろいろな角度で比べながら、文化の多様性を考察しています。「例えば、英語としてそのまま使われている日本語は酒やあずき、天ぷらなどたくさんありますが、そうした英語に入っていた日本語の時代背景などをひも解いていくと、文化の歴史を知ることができるのです」。『焼く』という動詞一つをとっても、英語にはゲリルやバイクなどさまざまな言い方があり、そこにも日英の食文化の違いを見ることができると語る山根先生。対象が栄養科学部の学生ということもあって、主に料理に関する言語を取り上げているのも、このゼミの特徴の一つです。また、「イギリスの社会とパブの変遷」や「ことわざに見る世界の食文化」など興味深いテーマが多く、時には食の範囲にとどまらず「ハリーポッターがなぜ日本で大ヒットしたのか」といったユニークな内容も取り上げています。

(山根先生の口癖)
心を耕す!!

教授 山根 一文 先生



このゼミを通して学生たちに学んで欲しいのは、『心を耕すこと』の大切さ」と語る山根先生。「カルチャー」という名詞は、日本語にすると「文化」と訳されますが、本来、この言葉には「教養」という意味も含まれています。カルチャーの動詞は『耕す』という意味のcultivateが語源。つまり、教養とは心を耕すことなんですね。このゼミでは、ぜひいろいろなことに目を向けて、視野を広げながら心を耕して欲しいのです」。

心を耕す、それは他者との違いを認め、偏見を持たないやわらかい心を自分の中に育てること。そうした真の教養というものは、将来、社会人として働く際にも大きな力になると山根先生。「管理栄養士の国家資格を取得するために、専門的な知識はもちろん必要ですが、社会で働くうえではそれだけでは足りない。例えば糖尿病の患者さんに栄養指導をする際も、単に知識を押し付けるのでは、患者さんは閉口してしまう。そんな時、広い教養と豊かな言葉を持ついれば、栄養指導という本来の目的が伝わりやすくなるし、管理栄養士としてもその役割が柔軟に発揮できるのではないだろうか」。

このゼミで学んだ学生たちは「好きなテーマを自由に選べるので、自分の考えを養いながら、違う視点で物事を捉えられるようになった。栄養科学の専門的な内容とは違った角度で学べて視野が広がった」と語ります。

いわゆる英語力を上げるのではなく、教養を身に付けることが山根ゼミの一番のねらい。先生は学生たちの積極的に学ぶ姿勢に目を細めながら、「知識を深めることと心を耕すことは両輪です。ぜひ大学の4年間でその双方の獲得に努めて欲しいですね」と最後に結んでくださいました。

活躍する卒業生

Graduate of Nakamura



医療法人社団水光会
宗像水光会総合病院
鶴田 朋美さん
平成18年度 中村学園大学
栄養科学部 栄養科学科卒業

患者さんに栄養指導を行いながら、その快復をサポートしています。

現在、私は宗像水光会総合病院で管理栄養士として働いています。栄養士という一般的なには献立を立てたり、実際に調理したりするイメージがありますが、私の勤務する病院では、管理栄養士は病棟にいることが多くなります。患者さんのそばに行つて直接栄養指導を行っているからです。私は消化器外科、リハビリ病棟、内科を担当していますので、これまで患者さんがどんな食生活を送り、今後、どういった生活を送りたいのか、その方のライフスタイルにじっくり耳を傾けながら、的確な栄養指導を行っていきます。それぞれの病状を把握する必要があるのです。当然カルテを読み取る力や、医師や看護師、薬剤師と連携するコミュニケーション能力も必要となります。

今後の治療方針も含めた情報を共有し、管理栄養士もチーム医療の一員として患者さんの快復をサポートしています。こうしたチーム全体での取り組みが実つて、やがて患者さんの栄養状態が改善し早期退院が叶えられた時は、この仕事のやりがいを感じます。

ここに勤務して今年で6年目を迎えますが、振り返ってみると毎日が勉強の連続という感じがします。病気の快復を目的とした栄養指導ですから、やはり栄養の知識だけでなく医学の知識も必要となつてきます。日進月歩で進む医療の分野で働く以上、こうした勉強はずっと続いていくのかもしれない。

中村学園大学に在学中は、管理栄養士の国家試験合格に向けた勉強を頑張りました。中村では一年次から、試験に向けたカリキュラムが構築されているので、早い時期から目標が定まっていって良かったと思います。また、先生方は実際に臨床の場で活躍されていた方が指導にあたってくださつたため、現場の生の声を聴きながら、実践的な学びを得ることができたと思います。

後輩の皆さんには、ぜひ学ぶことを好きになつて欲しいですね。どんな職種でも同じかもしれませんが、社会人になればより学ぶ姿勢が必要となり、自身が自ら勉強することが求められるでしょう。ぜひ、今ある時間を有意義に活かして、さまざまなことに目を向けながら自身を高めて欲しいと思います。

私も更に勉強を続け、患者さんやスタッフの皆さんに信頼される人間となつて、より多くの人の病状快復を支えていきたいと思っています。



外来の患者さんに栄養指導を行うのも管理栄養士の仕事。正しい食事の摂り方などをアドバイスしています。

上司からのメッセージ



栄養管理室室長
浦野 朱美 様

● 鶴田さんについて

鶴田さんが当院に入職して5年が経ちますが、その前向きで誠実な人柄に、安心して仕事が任せられます。後輩の相談にも適切なアドバイスで応え、人材の育成にも貢献してくれています。管理栄養士として大切なのは、専門職としての自覚を持ち、常に自己研鑽し技術の向上に励むことです。これからはチーム医療が推進されますので、コミュニケーション能力や他の専門職の意見を尊重し、協働する姿勢も大切です。

当院では、栄養管理室を中心に透析予防診療チームを設置し、糖尿病患者の透析予防に係る指導を検討しているところですが、専任の管理栄養士として鶴田さんを推薦することにしていきます。彼女なら適切な仕事ができることと確信しています。

● 就職活動全般について

まず、自己管理がしっかりできることが重要だと思います。学生の皆さんには一日一日を丁寧に過ごして欲しいと思います。社会では、自身の行動に責任が伴いますので、周りの人々から信頼される人を目指してください。そして、確固たる目標を持ち、何ごとにもあきらめない心を大切にして欲しいと思います。

一人ひとりの立場になって思いを理解し、
気持ちを伝えようとする。
その時、心はつながっていくはず。

不登校の生徒たちの学習を支援する「ヤングアドバイザー」。
教職を目指す森山さんは、去年の11月からこの活動に参加し、
生徒たちとの心の交流の中で、多くの学びを得ています。



不登校の生徒たちを支援する、
それがヤングアドバイザー

私が「ヤングアドバイザー」に興味を持ったのは、ゼミの先輩から紹介してもらったのがきっかけです。「ヤングアドバイザー」とは、福岡県が立ち上げた学生ボランティアの一つで、心に不安や悩みを持つ不登校の生徒たちを支援する活動です。私は昨年11月からこの活動に参加。甘木地区の中学校を週一回訪れ、保健室の隣りに設けられた「特別教室」に通いました。そこに集まるのは、教室で他の生徒と一緒に授業を受けられない生徒たち。そうした生徒たちに勉強を教えたり、一緒に運動したり、時には相談相手になったりすることが「ヤングアドバイザー」の役割です。

私が担当したのは、中学一年の生徒たちです。初めて特別教室を訪れた時、私自身、緊張していましたが、生徒たちもやはりなかなか言葉を交わしてはくれず、少し戸惑いました。しかし、まずは自然な雰囲気をつくるのが大切だと思い、勉強の話ではなく、ゲームやテレビの話などをしながら、和やかな空気をつくるよう心がけました。そうしているうちに、生徒たちも少しずつ口を開いてくれるようになり、会話が増えていったように思います。



教職課程の授業で使っている
カウンセリングの本も参考にしている。

教職の夢を叶え、
この経験を役立てたい

このボランティアのやりがいは、生徒たちと心が通い合うようになった時。不登校の生徒の多くがコミュニケーションを取ることが苦手なのですが、彼らと接しているうちに気づいたのは、彼らも本当は人とコミュニケーションを取りたいと思っていること。うまく話しかけたりはできないけど、自分の思っていることを誰かに聞いて欲しい、誰かと明るく話したい、そんなふうにいるんだということに気づきました。事実、何度も交流を重ねていくうちに、彼らは日々親しく接してくれるようになり、なぜ不登校になったのか、その理由を打ち明けてくれたりもしました。「ヤングアドバイザー」となるうえで大切なのは、うわべだけの言葉を並べたり、ウソをついたりせず、気持ちを伝えようとする。そして相手の立場に立ち、その気持ちを理解しようとする。そういう姿勢であれば、彼らもいつか心を開いてくれるのではないかと思います。

私は、大学を卒業したら小学校の教諭になりたいと思っています。その夢を叶えるうえで、この「ヤングアドバイザー」のボランティアは、多くのことを学ぶ良い経験となりました。もちろん、難しさを感じる部分もありますが、生徒たちと心を通わす中で、他の職業では得られないやりがいを感じ、教職に就きたいという思いもより一層強くなった

ように思います。

この春から大学4年生になり、教員採用試験に向けた勉強もますますハードになります。私は教職の夢を叶えるために、ぜひ試験に合格したいと思っています。そして、「ヤングアドバイザー」で得た経験を活かし、子どもたちに信頼してもらえ教師になりたいですね。



教職の道を目指す森山さんは、
将来の仕事を見据えヤングアドバイザーに挑戦。



ヤングアドバイザーの期間が終了する時、
通っていた中学校の生徒たちにもらったメッセージ。

クラブ & サークル

CLUB & CIRCLE

サークルフェスタ 2012開催!!

4月5日
11:30~17:30

【サークル一覧】 学友自治会執行部 学園祭実行委員会

文化系サークル
演劇同好会／表千家茶道部／華道部／クリスタルハーモニ／児童文化部／軽音楽部／簿記会計サークル／書道部／筆曲部／裏千家茶道部／ユースホステルクラブ／和太鼓部／ボランティアサークル／エコサークル同好会／吹奏楽部／美術同好会／アコースティックギター／楽膳／食育ボランティア／教育研究同好会／食物研究部

体育系サークル
合気道部／NDA部／空手道部／弓道部／剣道部／硬式テニス部／ソフトテニス部／女子バレーボール部／男子バレーボール部／軟式野球部／女子ラクロス部／男子ラクロス同好会／バスケットボール部／バドミントン同好会／バトンスークル／水泳同好会／ハンドボール同好会／チアリーディング同好会／陸上同好会／卓球同好会／新体操同好会／サッカー同好会

●メッセージ



学友自治会 会長
川上 彩乃さん
(流通科学部3年生)

新入生にサークルに入ってもらうアピールの場として、サークルフェスタは毎年開催されています。中村には45のサークルがあり、各サークルは目的を持って活動し、趣味や技術の向上を目指して日々取り組んでいます。現在、学生の約3分の1が何らかのサークルに所属していますが、私はまだまだ多くの学生にサークル活動に参加してもらいたいと思っています。

サークル活動することによって友達の輪が大きくなり、自分が学んでいる学部学科とは異なる学生とともに活動することで、自分自身の視野も広がります。自分とは違う考えを持った人と接することは、とてもいい社会勉強だと思います。魅力いっぱいサークルが揃っていますので、「もっと自分を成長させたい」「学園生活を楽しみたい」という新入生は、ぜひサークルに入ってください！

桜がひらひらと舞う4月5日、新入生オリエンテーションの最終日に、体育館のメインフロアでサークルフェスタが開催されました。文化系、体育系の全サークルが集結し、各サークルの紹介やサークルへの勧誘を行いました。サークルスタンブラリーも実施され、各サークルをまわってスタンプを5個集めた新入生には、プレゼントが渡されました。

ステージ中央では、NDA部によるダンス、和太鼓部、吹奏楽部の演奏などが繰り広げられ、大いに盛り上がりしました。新入生は、その熱気に圧倒されながらも、「みんな親切な先輩ばかりです」「どのサークルも楽しそうで迷ってしまします」など、高校とは異なる、大学ならではの雰囲気を楽しんでいました。



平成24年度 入試結果

競争率は、受験者数 / 合格者数
(小数点第3位以下を四捨五入)

● 中村学園大学大学院

研究科・専攻	課程	種別	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率
栄養科学研究科 栄養科学専攻	博士前期	推薦	6	3	3	3	1.00
		一般(1次)		0	0	0	-
		一般(2次)		3	3	1	3.00
		外国人留学生		0	0	0	-
	博士後期	前期	3	0	0	0	-
		後期		0	0	0	-
人間発達学研究科 人間発達学専攻	修士	推薦	5	1	1	1	1.00
		一般(1次)		0	0	0	-
		一般(2次)		0	0	0	-
		社会人(1次)		1	1	1	1.00
		社会人(2次)		2	2	2	1.00
		外国人留学生		7	7	7	1.00
流通科学研究科 流通科学専攻	修士	推薦	10	1	1	1	1.00
		一般(1次)		4	3	3	1.00
		一般(2次)		1	1	1	1.00
		社会人(1次)		1	1	1	1.00
		社会人(2次)		0	0	0	-
		外国人留学生		0	0	0	-

● 中村学園大学

学部・学科		区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率	
栄 養 科 学 部 栄 養 科 学 科	推 薦	公 募 制	50	146	146	58	2.52	
		指 定 校	20	28	28	28	1.00	
		併 設 校	20以内	20	20	18	1.11	
	一般（前期）		90	481	481	177	2.72	
	一般（後期）		5	70	70	5	14.00	
	大学入試センター試験利用(前期)		12	260	260	48	5.42	
	大学入試センター試験利用(後期)		3	27	27	3	9.00	
	外国人留学生		若干名	0	0	0	-	
	帰国子女		若干名	0	0	0	-	
	教 育 学 部 児 童 幼 児 教 育 学 科	推 薦	公 募 制	80	175	175	102	1.72
併 設 校			15以内	15	15	13	1.15	
一般（前期）			100	802	796	227	3.51	
一般（後期）		5	97	97	16	6.06		
大学入試センター試験利用(前期)		15	393	393	124	3.17		
大学入試センター試験利用(後期)		5	48	48	12	4.00		
外国人留学生		若干名	0	0	0	-		
帰国子女		若干名	0	0	0	-		
流 通 科 学 部 流 通 科 学 科		推 薦	公 募 制	25	61	61	47	1.30
			指 定 校	45	74	74	74	1.00
	併 設 校		40以内	38	38	37	1.03	
	一般（前期）		85	696	694	329	2.11	
	一般（後期）		5	87	87	9	9.67	
	大学入試センター試験利用(前期)		7	168	168	54	3.11	
	大学入試センター試験利用(後期)		3	10	10	3	3.33	
	外国人留学生		10	13	13	11	1.18	
	帰国子女		若干名	0	0	0	-	

● 中村学園大学短期大学部

学科	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率
食物栄養学科	推薦	公募制	37	82	82	1.32
		指定校	63	61	61	1.00
		併設校	10以内	10	10	1.00
	一般		35	189	188	2.89
	社会人		5以内	6	6	2.00
	外国人留学生		若干名	0	0	-
キャリア開発学科	推薦	公募制	10	24	24	1.14
		指定校	110	114	114	1.00
		併設校	15以内	15	14	1.07
		自己推薦	5	8	8	1.14
	一般		10	48	48	2.40
	外国人留学生		若干名	0	0	-
幼児保育学科	推薦	公募制	75	112	112	1.22
		指定校	60	71	71	1.00
		併設校	15以内	15	15	1.00
	一般		40	163	161	2.68
	社会人		若干名	3	3	1.00
	外国人留学生		若干名	0	0	-

付属幼稚園 園長だより



保育者の役割

嵯峨幼稚園園長 久富さよ子

幼稚園にとって大切なことはいうまでもなく保育者の存在です。当園は年少、年中、年長各2クラス、計6クラス、6人の担任と補助の先生方5人で保育を担当しています。

先生方の日々の仕事を眺めつつ、私はとても感心させられるのです。突然雪が降った3月のある日、年少の園舎の前の賑やかな声に覗いてみると、ひよこ組・すずめ組の子どもたちと先生方が、二手に分かれて雪合戦をしています。子どもたちは真っ赤な手で雪のボールを投げては丸めることを、必死で繰り返しています。雪がなくなると中庭の雪を探して駆け回り、また投げる姿に思わず「頑張れー」と叫んでいました。やがて年中、年長の子どもたちも参戦、中庭はいままでにない大賑わいの合戦場と化してしまったのです。

また、本園では心身を強くするために、走ることに力を入れています。年長の子どもたちは、朝登園すると自ら園庭を走ります。聞いてみると、それぞれに自分で目標を決めており、ある子どもは2周、ある子どもは17周と答えました。そして目標を達成すると、自分でシールが1枚張れるような仕組みになっていました。なかには途中で修正を申し出る子どももいたようです。クラスには子どもたちの頑張りが目目でわかる一覧表が貼られています。

保育者は日々の保育内容をすでに計画していることですが、雪合戦にみるようにその時をとらえ、中庭という適度な広さの場所、しかも全クラスから最もよく見渡せる場所を選択しました。これが北側にある広い園庭では、これほどの盛り上がりは期待できなかったことでしょう。また、この時子どもたちは雪の感触を感じ、手の温もりで雪が水に変わることや、日陰や木の茂みに雪が残っていること、場所により雪の硬さが異なること等、理屈ではなく実感という貯金を心のうちに増やしていたことでしょう。

走ることも子どもが自ら走る気持ちになるように、その心の動きや心理を読みつつ、日々の保育そして指導を行っています。つくづく先生方のフレキシブルな対応の見事さ、判断的確さに、現場に居ることの凄さ、素晴らしさ…。誠に尊いものであると感じたことです。

文部科学省 大学教育推進プログラム 第2回 福岡フォーラム

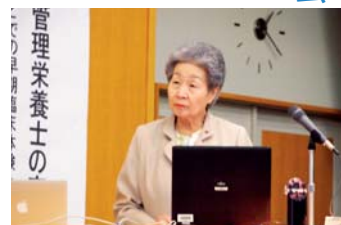
栄養科学部

平成24年1月21日、西1号館10階大講義室において、文部科学省大学教育推進プログラム「患者の行動変容を導く管理栄養士の育成」付属医療施設「栄養クリニック」での早期臨床体験と模擬患者実習を基盤とした実践教育」の第2回福岡フォーラムが開催されました。

栄養科学部では、この取組が平成22年に採択されており、管理栄養士教育のあり方についての講演や本年度の進捗状況の報告が行われました。

福岡フォーラムでは、付属医療施設「栄養クリニック」を活用した実習体験や、模擬患者実習の成果と臨床能力を評価するための「OSCE（客観的臨床能力試験）」の実施状況などが報告され、更に臨床実習の現場からの貴重な提言も述べられました。

福岡フォーラムでは、付属医療施設「栄養クリニック」を活用した実習体験や、模擬患者実習の成果と臨床能力を評価するための「OSCE（客観的臨床能力試験）」の実施状況などが報告され、更に臨床実習の現場からの貴重な提言も述べられました。



プログラム

- 開会の挨拶 栄養科学部長 藤田 守
- 取組の概要 栄養科学部特任教授 吉岡 慶子
- 基調講演
 - 「管理栄養士の養成に必要な新しい栄養学 ―女子栄養大学栄養クリニック40年の経験―」
女子栄養大学学長 香川 芳子
 - 「管理栄養士業務における実践力の強化に向けて」
東京家政学院大学現代生活学部教授 田中 弘之
- 実施状況報告
 - 文部科学省「大学教育推進プログラム」の支援を受けた栄養科学部の取組
―初年次チュートリアル教育から臨地実習まで―
栄養科学部教授 森山 耕成
 - 中村学園大学栄養クリニック：
新入生の早期臨床体験と3年次学生の臨床実習
栄養科学部教授 栄養クリニック院長 中野 修治
 - 客観的臨床能力試験 OSCE
栄養科学部准教授 大和 孝子
 - 管理栄養士教育における模擬患者さんとは
栄養科学部准教授 岩本 昌子
- 臨地実習の現場からの提言
 - 久留米大学病院栄養部管理栄養士 岩崎 昌子
 - 社会保険田川病院栄養部管理栄養士 肥田 幸
- 総合討論 司会 栄養科学部教授 荻本 逸郎
" 三成 由美子
- 閉会の挨拶 栄養科学部長 藤田 守

敬称略、肩書き等は開催日時のもの

文部科学省 学生支援推進プログラム 公開フォーラム開催

教育学部

平成24年2月18日、西2号館において、文部科学省学生支援推進プログラムである、教育学部の取組小学校教員採用試験受験支援のためのe・ラーニング演習の構築」の公開フォーラムが開催されました。

甲斐諭学長による開会挨拶の後、2つの基調講演が行われ、相良康弘教授から本プログラムの実績や今後の改善点等が報告されました。教育学部では、全国各都道府県で過去に実施された小学校教員採用試験問題と学部教員によるオリジナル問題の計約10,000題からなるe・ラーニング演習システムを構築しており、自学自習を促すとともに、教員側からの指導体制を強化し、採用試験合格率の向上に取り組んでいます。



プログラム

- 開会の挨拶 学長 甲斐 諭
- 基調講演
 - 「教員養成における課題とe-learning等の活用 ~大阪教育大学の事例から見てくるもの~」
大阪教育大学教授・学長補佐 片桐 昌直
 - 「学校教育現場におけるe-ラーニング活用の可能性」
福岡市立和白中学校教頭 猪迫 広樹
- 実施報告
 - 「小学校教員採用試験受験支援のためのe-ラーニング演習の構築」
教育学部教授 相良 康弘
- 総合討論
- 閉会の挨拶 教育学部長 福田 伸光

敬称略、肩書き等は開催日時のもの

海外研修レポート 「カナダ・バンクーバー」

短期大学部キャリア開発学科1年生の16名は、平成24年2月11日から16日間、バンクーバーでの海外研修に参加しました。

スイス非営利団体「ユーロセンター・バンクーバー校」での英語学習とカナダの文化・自然を体験するアクティビティと、ホームステイを行うプログラムです。

クラスの担当教員ライアン先生は2年前にも本学科の学生を担当されており、学生もリラックスして英語を学んでいました。校内には「英語オンリー」の厳しい規則があります。学生たちは戸惑いながらも、日本人同士また他国からの留学生たちと英語で話をしていました。

今回は、現地小学校で「日本文化紹介」も行いました。福岡紹介、折り紙、習字、かるたを小学生に英語で教えながら、一緒に活動しました。特に習字は人気で、自分の名前や好きな言葉を日本語で書いて欲しいという子どもたちが続出。準備しがいのあるプレゼンテーションとなりました。

この研修は、英語の履修科目でもあり、帰国後は、TOEICによる英語力の伸長チェックや報告書作成などを経て、「海外研修」(1単位)として単位認定されます。



子どもの育ちをみつめる 「保育・教育専門講座」

中村学園大学発達支援センターでは、子どもの発達に関する基礎的・臨床的研究と発達支援方法の開発に取り組んでいます。その事業の一つとして同センター発足以来、公開講座「子どもの育ちをみつめる」保育・教育専門講座」を毎年開催しています。

今年度は、「知育・徳育・体育・食育の基礎と実践」のテーマで、平成24年1月21日、2月4日、2月18日の3日間、左記の内容にて実施しました。講座内容は、保育や教育の現場で関心をもたれている諸問題について取り上げ、実際に現場で活躍されている方や子育て支援に携わる方の参加を得て、保育や教育のあり方を模索しています。

プログラム

■第1日目

- I. 保育所における食育の実践に向けて
食物栄養学科教授 寺澤 洋子
- II. 幼児期の運動あそびの意義
幼児保育学科教授 増田 隆

■第2日目

- I. 聴くこと・歌うこと
教育学部准教授 宮坂 明
- II. 発想力を高める、多面体折り紙の活用
幼児保育学科准教授 古賀 和博

■第3日目

- I. 現代の保育事情と保育・子育て
福岡女子短期大学准教授 尾花 雄路
- II. 子どもの健康について
幼児保育学科講師 中村 宏子



地下鉄七隈線沿線三大学連携 「にっこにウォーキング&ジョギング2012」

平成24年4月8日、地下鉄七隈線沿線三大学連絡協議会主催の「にっこにウォーキング&ジョギング2012」が開催されました。

このイベントは、地下鉄七隈線沿線に所在する三大学（中村学園大学、福岡大学、福岡歯科大学）がスポーツ、医療、栄養という各大学の専門性を活かし、地域の健康づくりや疾病予防等を通じて地域社会に貢献することを目的に開催されました。

コースは福岡歯科大学（スタート地点）から、福岡大学（中継地点）を経由し、中村学園大学（ゴール）を目指すものです。約300名の参加者が、三大学を結ぶ7kmのコースをウォーキングやスロージョギングをして楽しみました。

ゴール後は、本学食育館



春のオープンキャンパス

平成24年3月17日、春のオープンキャンパスが開催されました。当日は526名の高校生や保護者の方々にご来場いただきました。オープン

キャンパスでは、入試相談や学生生活相談をはじめ、栄養士系、幼児保育・児童教育系、企業系の分野における模擬授業や在学生との交流、クラブ・サークル紹介、入試説明会などイベントが盛りだくさんで、大好評でした。

なお、夏のオープンキャンパスは8月11日と8月25日に開催される予定です。



保護者対象就職説明会

現在の雇用環境や就職活動の現状を報告する保護者対象就職説明会が行われました。平成24年2月25日（一般職系）、3月3日（栄養士・幼稚園教諭・保育士・小学校教員などの専門職系）の日程で就職状況報告のほか、内定者によるパネルディスカッションなどが行われました。

この説明会は、保護者の皆さまと大学が共に学生の就職活動を支援することを目的に開催しています。これまでは一般職系のみを開催対象としていましたが、今年度からは専門職系も併せて開催され、延べ557名の方にご出席いただきました。

Q-Conference 2011

「Make a Knot!! Q-Links! つながりをつくって」

平成24年2月18日「Q-Conference2011」が、九州大学の創立五十周年記念講堂において開催されました。このイベントは、Q-Links（九州地域大学教育改善F.D・SDネットワーク）の活動として、Q-Linksの担当者及び大学教育改善に関わる教職員や学生が一堂に集まり、出会い、知り合い、発見し、これまでのQ-Linksを振り返る場として企画されたものです。仲間の知恵や工夫を知り合う「ポスターセッション」、これまでのQ-Linksを振り返り、これからを考える「Q-Labセッション」や「企画セッション」をテーマとして、200名近い参加者が集まりました。

本学からも、栄養科学部が文部科学省G.P.採択事例を、流通科学部が実学教育として取り組んでいる授業紹介を、学生支援センターが学生支援に関する各部署の取り組みを紹介しました。また、本学にてQ-Linksの担当者として取り組んできた教務課の植村課員が企画セッションの登壇者として参加し、これまでの活動を振り返りながら活発な意見交換を行いました。

Q-Links（九州地域大学教育改善F.D・SDネットワーク）

人的ネットワークの構築や情報共有を通じて、各大学の教育の充実・発展に寄与することを目的に福岡市内の6大学（九州大学・西南学院大学・福岡大学・福岡歯科大学・福岡女子大学・中村学園大学）でスタートした。賛同校は、九州・沖縄全域で30大学を超え、ネットワークは今も広がり続けている。

菊池玲花さん ボーイスカウト日本連盟の 「富士章」を受章!!



短期大学部幼児保育学科2年生の菊池玲花さんが、ボーイスカウト日本連盟のベンチャースカウト

部門（中学3年9月〜20歳まで）で最高位のスカウトに与えられる富士章を受章しました。富士章はさまざまな条件を満たした人物だけが選ばれ、今回福岡県からは5名のみが選ばれました。

平成24年3月15日には小川福岡県知事を表敬訪問。そして3月27日には、首相官邸に招かれ、野田内閣総理大臣と対面しました。天皇陛下からも、今回の富士章受章に対するご祝辞をいただいたそうです。

中村学園女子高校 剣道部が全国制覇 全国高等学校選抜剣道大会

第21回全国高等学校選抜剣道大会にて

中村学園女子高校の剣道部が見事優勝しました。（4年ぶり2度目の優勝）
5月9日に祝賀会が行われる予定です。



中村理事長への優勝報告を行う
剣道部員と岩城顧問

プログラム

- ランチセッション
「はじめてのQ-Links」 Q-Links 事務局
- オープニングセッション
九州大学 理事・副学長 丸野俊一
- ポスターセッション
38事例発表（30大学・5賛同者・3コンソーシアム参加）
 - 【栄養科学部】
患者の行動変容を導く管理栄養士の育成
～付属医療施設「栄養クリニック」での早期臨床体験と模擬患者実習を基盤とした実践教育～
 - 【流通科学部】
実学教育としての「総合演習Ⅱ」
―「社会化」と「創発」―
 - 【学生支援センター】
Nakamura Student support Center 48
～紹介します！学生支援センターのすべて～
- Q-LabOD セッション
プロジェクトの紹介と振り返り Q-Links 事務局
- 企画セッション
「Q-Links インパクト」
Q-Links に関する意見交換
- クロージングセッション
九州大学 理事・副学長 丸野俊一

学生表彰

平成23年度

総合GPA優秀者表彰

「中村ハル育英奨学金規程」による、平成23年度総合GPA優秀表彰者が左記のとおり決定しました。表彰者には学位記授与式当日、表彰状と純金製のメダルを配した盾が手渡されました。

大学

栄養科学部 栄養科学科 飯星 里菜
人間発達学部 人間発達学科 児童発達学専攻

流通科学部 流通科学科 永田 歩美
今村友梨香

短期大学部

食物栄養学科 田中 愛美
キャリア開発学科 有吉 千尋
幼児保育学科 佐藤 幸枝

GPAとは、Grade Point Averageの略です。

GPAは、学生が履修した科目の成績評価に応じて、秀「4点」、優「3点」、良「2点」、可「1点」、不可・不認定「0点」としています。総合GPAとは、学生が在学中に履修した科目それぞれのGPAに、その科目の単位数を乗じて得た値の合計を、全履修登録科目の合計単位数で除して得た値のことです。

この数値で、1単位当たりどれだけ高い学習効果をあげたかが評価できます。

平成23年度卒業学生 表彰者

各養成課程を優れた成績で卒業する学生を各種団体が表彰しています。平成23年度は次のとおり決定しました。

●全国栄養士養成施設協会会長表彰者

短期大学部 食物栄養学科 秋山 公子
大学 栄養科学部 栄養科学科 本田 侑紀

●全国保育士養成協議会会長表彰者

短期大学部 幼児保育学科 佐藤 幸枝
大学 人間発達学部 人間発達学科 幼児発達学専攻

橋口亜里沙

●日本フードスペシャリスト協会会長表彰者

短期大学部 食物栄養学科 垣内美沙樹
大学 栄養科学部 栄養科学科 井上 由貴

外部資金受入れ状況

受託研究

【研究者】 太田 英明 教授（栄養科学研究科）
【研究課題名】 シークワサーを皮ごと加工した特産品開発
【企業名】 大宜味村農山漁村生活研究会
【金額】 200,000円

研究助成

【研究代表者】 太田 英明 教授（栄養科学部）
【本学共同研究者】 吉田 淳子 助教（短期大学部食物栄養学科）
矢羽田 歩 常勤助手（栄養科学部）
佐々木久美 常勤助手（短期大学部食物栄養学科）
山本 健太 大学院生（栄養科学研究科・博士後期課程）
【研究課題名】 雑豆由来の機能性成分を利用した新規食品素材の探索
【企業名】 財団法人日本豆類基金協会
【金額】 1,200,000円

発刊・発行のお知らせ

プロジェクト研究

研究成果報告書第2号発刊

中村学園大学・中村学園大学短期大学部「プロジェクト研究研究成果報告書第2号」が刊行されました。プロジェクト研究は、本学の研究の高度化・活性化・個性化を図るとともに、若手研究者の研究活動能力向上を図ることを目的として平成19年4月に発足しました。学部・学科の枠を越えた研究班や、教育（教養・情報・教職）センター所属教員による研究班が編成されました。本報告書は平成21、22年度（原則2年間）の研究成果をとりまとめたものです。



大学オリジナルグッズに

ラバーコースターが仲間入り

この度、丸善キャンパスショップ中村学園大学店にて、新しい大学オリジナルグッズのラバーコースターの販売を始めた。



柔軟性があり滑りにくい素材を使用、印鑑の下敷きにも利用できます。3種類準備しています。お好きな色をお試しください。

教職員の動き

採用人事（平成24年4月1日付）

	准教授（大学・教育学部）	野中 千都
	准教授（大学・流通科学部）	木下 和也
	准教授（大学・流通科学部）	野中 昭彦
	講師（短大・キャリア開発学科）	藤島 淑恵
	常勤助手（大学・栄養科学部）	大無田恵美
	常勤助手（大学・栄養科学部）	佐野亜由美
	常勤助手（大学・栄養科学部）	松岡 伴美
	常勤助手（大学・栄養科学部）	丸山 由奈
	常勤助手（大学・栄養科学部）	楊 萍
	常勤助手（大学・教育学部）	大庭 美奈
	常勤助手（大学・食物栄養学科）	柴田 好視
	常勤助手（大学・食物栄養学科）	福松 亜希
	常勤助手（短大・キャリア開発学科）	有田真貴子
	常勤助手（短大・幼児保育学科）	門田理代子
	図書課課員	角 真紀子
	経理課課員	原野 敦志
	教務課課員	大石 剛弘
	管財課労務職員	森藤 泰秀

教員の出版物

国际食品安全
及农业资源经济分析

甲斐 諭

食糧資源の
経済分析
——環境と資源の
相互作用——
上巻 田中 浩

시공안정권
유동·자질
김선연 지음
1994-1995년 1월 1일 발행

한울출판사

(平成22年2月20日)



青峰 正裕 栄養科学部・教授 編著
藤田 守 栄養科学部・教授
大和 孝子 栄養科学部・准教授
竹嶋美夏子 栄養科学部・助教

逆引
英語形容詞・副詞・
動詞複合語辞典
An Inverted Dictionary
of
English Adjectives,
Adverbs
and
Verbal Compounds
山崎 一 著
呉川 秀雄 編

山根 一文
栄養科学部・教授 編著

現代の
マーケティングと商業

伊藤 泰弘
著
松井 清江
監修

ABC
1234567890

三輪 孝

片山 富弘
流通科学部・教授 共著

[illegible]

田村 知子
栄養科学部・講師 共著

石黒万里子
教育学部・講師 共訳

Alfred Tennyson
Rudolf W. Schindler
Wanda Gág
Wanda Gág

STEP up to Success



オー・エッセイ・コレクション 第1巻

THE NEW YORK PUBLIC LIBRARY

津田 晶子
食物栄養学科・講師 共著

 あさひ幼稚園常勤講師 荒木 恵美	 あさひ幼稚園常勤講師 久保 綾香	 あさひ幼稚園常勤講師 古賀 千里	平成24年度役職者																
			学長（大学・短期大学部）	大学院栄養科学研究科長	大学院人間発達学研究科長	大学院流通科学研究科長	栄養科学部学部長補佐	栄養科学部学部長補佐	栄養科学部学部長補佐	教育学部長	教育学部学部長補佐	流通科学部学部長補佐	短期大学部長	食物栄養学部主任	キャリア開発学部主任	幼児保育学部主任			
荒木 恵美	久保 綾香	古賀 千里	甲斐 諭	中野 修治	昇地 勝人	山田 啓一	藤田 守	三成 由美	森山 耕成	相良 康弘	笠原 正洋	片山 富弘	浅岡 由美	清水 誠	阿部志磨子	酒見 康廣	松尾 智則		
図書館長	発達支援センター長	大学付属あさひ幼稚園園長	大学付属あさひ幼稚園園長	大学付属あさひ幼稚園園長	大学付属あさひ幼稚園園長	大学付属あさひ幼稚園園長	大学付属あさひ幼稚園園長	大学付属あさひ幼稚園園長	大学付属あさひ幼稚園園長	大学付属あさひ幼稚園園長	大学付属あさひ幼稚園園長	大学付属あさひ幼稚園園長	大学付属あさひ幼稚園園長	大学付属あさひ幼稚園園長	大学付属あさひ幼稚園園長	大学付属あさひ幼稚園園長	大学付属あさひ幼稚園園長		
内山 文昭	昇地 勝人	甲斐 諭	那須 信樹	志水 陽子	久富さよ子	測上乃里子	那須 信樹	徐 涛	吉松 遊佳	坂本 健成	吉川 正治	緒方 圭子	塚元富一郎	岩尾 祐介	児島 修二	小柳 大樹	大樹（就職課課員）		
青峰 正裕	講師（大学）	講師（大学）	講師（短大）	講師（短大）	助手（大学）	助手（大学）	助手（大学）	助手（短大）	助手（短大）	助手（短大）	助手（短大）	助手（短大）	助手（短大）	助手（短大）	助手（短大）	助手（短大）	学生課課長		
常勤教職員から専任教職員への人事	熊原 秀晃	後藤 恵美	川俣 沙織	中村 宏子	北原 詩子	八住香代子	矢羽田 歩	脇本 麗	木村 安心	仁後 亮介	佐々木久美	竹下 佳織	西頭 東加	田村 麻衣	安田 奈央	松岡 忠行	辻原 陽一	坂井 洋隆	小川 康生
（平成24年4月1日付）	講師（大学）	講師（大学）	講師（短大）	講師（短大）	助手（大学）	助手（大学）	助手（大学）	助手（短大）	助手（短大）	助手（短大）	助手（短大）	助手（短大）	助手（短大）	助手（短大）	助手（短大）	助手（短大）	学生課課長	学生課課長	学生課課長
事務局長付課員	退職人事（平成24年3月31日付）	教授（大学）	准教授（大学）	准教授（短大）	助手（短大）	常勤助手（大学）	常勤助手（大学）	常勤助手（大学）	常勤助手（短大）	常勤助手（短大）	常勤助手（短大）	常勤助手（短大）	常勤助手（短大）	常勤助手（短大）	常勤助手（短大）	常勤助手（短大）	常勤助手（短大）	常勤助手（短大）	常勤助手（短大）
和田 雅司	上野 宏美	福田 伸光	深町健一郎	本山 和子	八田美恵子	松田 千昭	水田 絵美	宮崎 睦子	横山 絵里	籠田 清香	渡邊 章	樋口 奈美	中西 義昭	山本 美香	秀平 花子	上田 静男	上田 由美	上田 由美	上田 由美

広報誌セロリの定期購読について

定期購読をご希望の場合は、購読料（2 年分）として郵便小為替1,200円分と、郵便番号・住所・氏名・電話番号を書いた紙片を同封のうえ、学事課宛にお送りください。なお、広報誌の発行は、年4回（4・7・10・1月）となります。保護者の方には毎号送付しています。

[申込み先]

〒814 - 0198 福岡市城南区別府 5 - 7 - 1

中村学園大学 学事課「広報誌定期購読申込」係